成人祭のあり方について全市民で祝う祭日にしよう

H28年度３月議会
一般質問よりの抜粋

牧野よしはる
文教常任委員会 委員長
建設水道常任委員会・委員
彩都・箕面森町地域整備特別委員会・

Q それでは、成人祭のあり方について大きく2点、、まず最初に、確認させていただきます。成人祭の趣旨、また、市主催で行うことの意義についてどのように考えているのか。

A 市が主催することの意義につきましては、成人祭はこれを契機に成人としての自覚や意識を高めるとともに、昨今希薄になっている友人や家族、地域の方々とのきずなを強め、また、ふるさと箕面にこれからも住みたい、いずれは箕面に帰ってきたいといった郷土への愛着を抱いてもらう機会となるものでもあり、市を挙げて取り組むべきものと考えています。

Q 私は、少子高齢化が異常なスピードで進んでいる今日、次世代を担っていく新成人のため成人祭を徐々に全市民的な祭りに変えていければ、地域で新成人をお祝いするという成人祭の趣旨にかなったものになっていくのではないか、全市あげてパァーット楽しく祝いましょう。箕面市の片隅のメイプルホールに来れる人だけが来て、ひっそりと比較的幸せな人だけが集まって何かやっている、何か騒いでいるでよいとするのか。様々な事情があって出席出来ない人もいるのです。安心・支えあいというのは、例えば誕生日を家族で祝う、職場・グループで祝うのと同じように、新成人を市全体で市民全員で祝うというようなものに持っていくのが理想の方向だと思っています。利用できる施設はできるだけ解放して、1年に1回のことであります。会場に障害者団体の売店を出すとか、全市的に成人祭の日は箕面営業室と連携して楽しいうれしい成人祭記念セールをやってくれる店舗や商店街を募集するとか、グリーンホールやサンプラの8階を使って演劇会や音楽会や記念文化講演会を開くとか、全市のあちこちで今日は何があるのか、ああ、成人祭の日か、そうか、新成人おめでとう、みんなで祝い、そのかわり大人になって今後はみんなを助けていく、これこそが安心・支えあい最優先のまちづくりになっていくのではないかと思います。
また、緑・住みやすさ最先端の面から言えば、成人祭の日は、オレンジゆずるバスを無料にする、祭りの日はただで乗れるうれしいな、一度乗ってみようかな　また年度年度の新成人の代表がその新成人全員の意思を代表する形で、例えば中央公園に記念植樹をすれば、100年後には100本の記念樹が育つということになり、成人祭に対する市民意識の高揚と市民のきずな意識を深めるのに大きな効果があるのではないか。ほかにもいろいろと考えることがあると思いますが、市制施行60年を迎えた平成28年度の成人祭から、市民全員で市全体が新成人を祝うという方向に少しずつでも変えていったほうが、まちじゅうが楽しくなる住んで楽しいまちづくりができるのではないかと考えますが、これらの考えについての見解を問います。

A 牧野議員さんからは、市を挙げて新成人の門出を祝う手法や主役である新成人の目線でのさまざまなご提案をいただきました。平成28年度は市制施行60周年を迎える節目の年でもありますので、市内の各種団体やより多くの事業者に広くご協力をお願いして、より一層多くの新成人にご参加いただけ、全市挙げてお祝いする成人祭とできるよう検討してまいります。

其の他
○阪急桜井駅周辺地区再整備　駅南改札口設置生活利便性向上　人々のあつまる楽しい桜井　　○中央学習センター・中央図書館用の短時間専用駐車場設置　利用しやすい公共施設

箕面市議会の見識は

上田 春雄
総務常任委員会・委員長
箕面市議会議会運営委員会・委員
彩都・箕面森町地域整備特別委員会・委員
箕面市農業委員会・委員

政治屋よりも政治家を

	箕面市	池田市	豊中市	茨木市	高槻市
政務活動費	昭和61.6.1	昭和48.4.1	昭和56.4.1	昭和53.4.1	昭和55.12.22
	45000円	80000円	70000円	80000円	70000円
長寿祝い金	平成14.4.1 改正	平成20.4.1	平成20年廃止	平成27.4.1	
	7000 円	2万・5万・1万	0	100000円	ナシ
ゴミの有料化	平成15.10月	平成18.4 月	平成16.4月	現在検討中	現在検討中
予防接種事業	4千円か2千円	2000円	2000円	2000円	2000円

○政務活動費
第二の報酬であるという判断で、箕面市議会ではなかなか認められなかった。他市よりも、5年以上も遅れて施行され、一括支給なし、当初から領収書は必要。

○長寿祝い金
ご長寿を祝い、お慶びの意味を込めて、お祝い金をお届けしていましたが、一部廃止して、このお金をヘルパーさんの増員を始め、介護サービスの充実に活用して、将来に備えた。

○ゴミ袋の一部有料化
環境クリーンセンターの焼却炉の延命措置として、ゴミ減量のため、他市に先駆けて、ゴミ袋の有料化に取り組んだ。

○肺炎球菌ワクチン接種
肺炎球菌予防接種が法改正により、一部自己負担金を条例で定める時、個人負担金として、4千円（ワクチン代）か2千円（近隣市なみ）かの議論があり、少子高齢化社会を鑑みて、次世代に負担をさせないため4千円（自民・維新）、他市とのバランスで2千円（公明・政友・共産・無）。次世代の負担軽減よりも、バランスを選択して、採決は12対11で、結果は2千円に。

政務活動費・長寿祝い金・ゴミ袋有料化などなど。以前の箕面市議会は鋭い先見性や深い洞察力でもって、議会運営を、負担の分配に視野をおいて、おもねない、媚へつらわないで、まちづくりをしてきました。

少子高齢化社会を迎えて、利益の分配より負担の分配を。

60歳、そして定年!?

稲野 一三
副議長
建設水道常任委員会・委員
交通対策特別委員会・委員
箕面市都市計画審議会・委員
議会だより編集委員会・副委員長
箕面市競艇運営審議会副会長

一歩先を行くまち箕面

時代の先端をひた走り、そして数年前に定年をむかえた。それが団塊の世代である。大勢いる。この世代全員が、後期高齢者入りするのが2025年で、「2025年問題」などと言って、箕面市などでもその対応を検討し始めています。

ここで言いたいのは、この問題ではなく60歳の定年から75歳の15年を、どうやって充実して暮らすかということです。

箕面市では、健康を維持したまま長寿になっていただくため、各地でのラジオ体操や滝道ウォーキングなどを提案しているが、いずれも大盛況です。

また、各小学校区域にあるコミセンなどでも趣味演芸などの教室が多数開催されています。私が暮らす地区の「豊川南小地区コミセン『太陽の家』」では41の教室が週一回のペースで開催されていて、人気がある。定年後、以前から興味があった趣味に打ち込むのも面白いと思います。貸農園で農作業をするのも一興であります。

さらに、各地区コミセンや各地区福祉会などでも人手不足でボランティアを募集しています。これに参加してやりがいを感じ、長く在籍される方も多い。福祉会では、ちょっとだけ手伝う「チョボラ」も募集しています。

箕面市観光案内所が募集している観光案内ボランティアも50名以上おられてなかなかの人気です。

しかし、私自身が危惧していますのは、60歳を過ぎていずれにも参加されない、そして仕事もされていない方々であります。体力面及び精神面いずれの面でも問題が今後出てくるのではないかと心配しています。

そこで、行政もこの点にもっと措置を講じるよう、推進していきたい。子育て面に対する施策の充実に対し、中高年世代の市の施策があまりにも脆弱である。